

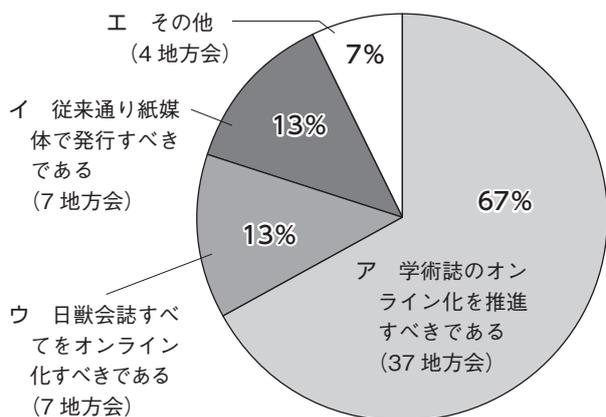
令和3年度 全国獣医師会事務・事業推進会議における  
地方獣医師会に対する日本獣医師会からの照会事項

「日本獣医師会獣医学術学会誌の電子化(オンラインジャーナル化)  
等について」の地方獣医師会の調査結果とりまとめ

日本獣医師会雑誌の獣医学術学会誌（雑誌の後半部分）については、今後の学会誌のさらなる利便性向上、利用拡大による投稿数及び被引用数の向上を図るため、平成25年から紙面と並行して発刊しているオンラインジャーナルへの一本化に向けた取組みを進めている旨、これまで本誌で情報提供してきたところである。

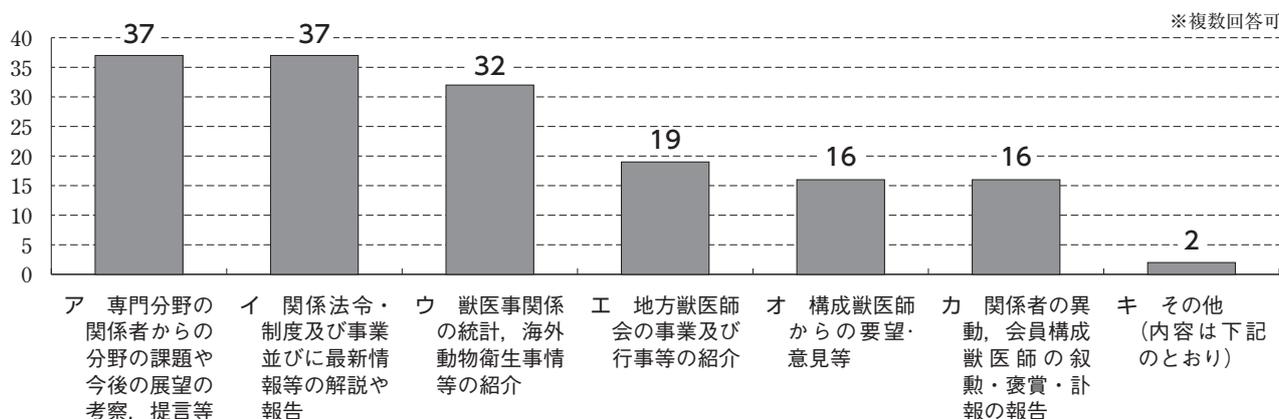
このたび「令和3年度 全国獣医師会事務・事業推進会議における地方獣医師会に対する日本獣医師会からの照会事項」として、地方獣医師会に対して本件に関する調査を実施したところ、次のとおりの結果となったのでここに報告する。

1 日本獣医師会獣医学術学会誌の電子化（オンラインジャーナル化）等について



アの「学会誌のオンライン化を推進すべきである」とウの「日獣会誌すべてをオンライン化すべきである」を合わせると、全体の80%である44地方会がオンライン化に対して前向きに考えている。また、イと回答した地方会についても、コメントからはオンライン化そのものへの反対ではなく、ネット環境が整っていない会員（特に高齢の会員）への配慮を求める声が多かった。

2 今後、日本獣医師会雑誌（会報）に掲載を望む内容について



キ その他の自由記載コメント

- 新たな事業展開は各地方会において急務である。その情報の共有は不可欠。
- 当会では約2割の会員が現役を引退した会員であるが、そうした会員から学会誌としての専門的な論文とともに、獣医師の常識として最近の獣医学術の進展状況等をわかりやすく解説した記事を望む会員も多い。